



保護者・保育者の皆さまへ

幼児期からの包括的性教育について

市立長浜病院産前産後ケアステーションにじいろでは、
幼児期から小学校低学年を対象に
「身体と心を守るための性教育」を行っています。

包括的性教育って何？

人権教育を基盤に、人間関係を含む
幅広い内容を体系的に学ぶ教育

幼児期の性教育の目的

- 自己尊重の意識を育てる：自分の身体を大切にし、尊重する心を養います。
- 他者を尊重する態度を学ぶ：自分だけでなく、他者の身体や気持ちも大切にすることを学びます。
- 安全意識の向上：不適切な接触を認識し、助けを求める方法を理解します。
- 性に関する自然な疑問に答える：正しい情報を提供し、好奇心に寄り添います。

包括的性教育は、お子さまの健やかな成長を支える重要な要素です。保護者の皆さまと共に、お子さまが自分自身と他者を尊重し、安心して生活できる社会を築いていきたいと考えています。ご不明点やご質問がありましたら、お気軽にご相談ください。

市立長浜病院
産前産後ケアステーション「にじいろ」





幼児期からの包括的性教育について★

にじいろが実践している具体的な内容

1. 命ってなに？（色々ないのち・身体と心について）
2. どうやってうまれてきたの？（命の始まりから）
3. プライベートゾーンって？（じぶんだけの大切な場所）

お子様にあかりやすいように伝え方を工夫しながら
性を肯定的に、科学的に、多様性を理解できるよう
心がけています。

どんな自分も
大丈夫

いろいろな考え方
人はそれぞれ違う

自分のからだも
相手の体も
大切にしよう

たったひとつの
選ばれた命

一人一人が
大切

自分だけの大切な場所
人に見せない
触らせない

お子さまの成長において、「性」は自然で大切なテーマです。
幼児期から適切な知識を身につけることで、自己肯定感を育み
他者との健全な関係を築く基盤を作ることができます。

市立長浜病院
産前産後ケアステーション「にじいろ」



幼児期からの包括的性教育

性に興味を持って質問されたらどうしたらいいの？

・・・全部に答えようとしなくても大丈夫です！

1. 「良い質問だね」「よく気がついたね」と子供の質問を肯定する
2. 怒らない・ごまかさない。嘘をつかない。
3. 否定的な言葉（恥ずかしい、汚い、など）は使わない。
4. わからないとき、戸惑うとき

→今は上手にお話できないからちゃんと調べてから伝えるね。

子供が好奇心を持ち、次の質問を引き出すことや、
どんな質問もできることが大切。

困ったときに

相談できる人になる

ご家庭でも実践してほしいこと

1. お子さまが性に関する疑問を持った際に、安心して質問できる環境を作りましょう。特別なこととせず、日常会話の中で自然に取り入れる。
2. 質問にはシンプルで正直に答える。
3. 「体の権利」の概念を伝える。自分の身体は自分だけの大切なところ。他人に見せたり触られたりしてはいけない。他人にとっても大切。勝手に見たり触ったりしない。
4. たとえ親しい人であっても、不快なことに対して「イヤ」と言うことができる大切さを教える。

市立長浜病院

産前産後ケアステーション「にじいろ」



幼児期からの包括的性教育



よくある困った時の対応例

- 性器の名前や排泄物の名前を連呼するとき・・・
冷静に事実を答える。〇〇がどうしたの？
何が知りたい？
その言葉を聞いて驚く人もいるから大きな声で言わないよ。
- 〇〇って何？（性的な内容など年齢に合わない質問）
どうして知りたいと思ったの？（背景を確認する）
どこでその言葉を知ったの？（優しく尋ねる）
プライベートで大切なお話だからみんなの前で言わないよ。



スマホやタブレットを、お子さんが操作し、
意図しなくても様々な情報が入ってきます。
家庭でのルールを決め、
フィルタリング機能を利用するなど、
インターネットと上手に付き合ひましょう。



産前産後ケアステーションにじいろでは
助産師を中心に各種相談事業も行っております。
詳細はホームページを参照してください。
お子様の成長を心より楽しみに今後も活動していきます。



お問い合わせ

市立長浜病院 産前産後ケアステーション「にじいろ」
電話：0749 68 2300（代）
平日8時30分から17時00分